

EIN DEUTSCHES REQUIEM op.45

poco a poco No.1

發音&逐語一覽

第 I 楽章

【マタイによる福音書 第5章 第4節】

悲しむ人々は幸いである、その人たちは慰められる。

Selig	sind,	die	da	Leid	tragen.
['ze:liç]	[zint]	[di:]	[da:]	[lait]	['tra:gən]
この上なく幸せ、至福 の	～である	～人々は	～の状態の	悲しみを	抱いている

悲しみを抱いている者はこの上なくしあわせである。

denn	sie	sollen	getröstet	werden.	
[den]	[zi:]	['zɔlən]	[gə'trø:stət]	['ve:rdən]	
なぜなら	彼らは	～だろう (運命・予定・未来)	慰め	られる (受動の助動詞)	

なぜなら彼らは慰められることになっているから。

【詩篇 第126章 第5節】

涙と共に種を蒔く人は喜びの歌とともに刈り入れる。

Die	mit	Tränen	säen,	werden	mit	Freuden	ernten.
[di:]	[mit]	['trɛ:nən]	['zɛ:ən]	['ve:rdən]	[mit]	['frɔɪdn̩]	['ɛrntən]
～の 人々は	共に	涙に濡れて	(種を)蒔く	～だろう (未来・未来 完了の助動 詞)	共に、～を もって	喜び	刈り取る、 収穫する

涙と共に種を蒔く者は、喜びと共に刈り取るだろう。

【詩編 第126章 第6節】

種の袋を背負い、泣きながら出て行った人は、
束ねた穂を背負い喜びの歌を歌いながら帰ってくる。

Sie	gehen	hin	unt	weinen	unt	tragen	edlen	Samen
[zi:]	['ge:ən]	[hin]	[unt]	['vainən]	[unt]	['tra:gən]	['e:dlən]	['za:mən]
彼らは	行く	向こうへ	そして	涙を流す、 泣く	そして	かついで行く、 持っている	貴重な、高 潔な	種

彼らは泣きながら貴重な種を持って出て行き、

und	kommen	mit	Freuden	und	bringen	ihre	Garben.
[unt]	['kɔmən]	[mit]	['fʁɔɪdn̩]	[unt]	['brɪŋən]	['i:rə]	['gərbən]
そして	くる	～と共に	喜び	そして	持ってくる	彼らの	(穀物の)束

(穀物の)束を携え、喜びと共に帰ってくる。

第Ⅱ樂章

【ペトロの手紙1 第1章 第24節】

こう言われているからです。
「人は皆 草のようで、その華やかさはすべて、草の花のようだ。
草は枯れ、花は散る。」

Denn	alles	Fleisch	es	ist	wie	Gras	
[den]	[ˈaləs]	[flaɪʃ]	[ɛs]	[ɪst]	[vi:]	[gra:s]	
なぜなら	すべての、い っさいの	肉体・人間、 生あるもの	それは	～である	～のよう	草	

なぜなら(こう言われているからです)、「すべての生あるものは、それらは草のようで、

und	alle	Herrlichkeit	des	Menschen	
[unt]	[ˈalə]	[ˈhɛrlɪçkaɪt]	[des]	[ˈmɛnʃən]	
そして	すべての	栄華	定冠詞	人間	

そして人間のすべての栄華は

wie	des	Grases	Blumen.
[vi:]	[des]	[ˈgra:zəs]	[ˈblu:mən]
～のようだ	定冠詞	草	花の

草花のようだ。

Das	Gras	ist	verdorret	unt	die	Blume	abgefallen.
[das]	[gra:s]	[ɪst]	[fɛrˈdɔrɐt]	[unt]	[di:]	[ˈblu:mə]	[apɡəˈfalən]
定冠詞	草	～は	枯れた、枯れ果て た	そして	定冠詞	花	落ちた

草は枯れ、そして花は落ちた。」

【ヤコブの手紙 第5章 第7節】

兄弟たち、主が来られるまで忍耐しなさい。
農夫は、秋の雨と春の雨が降るまで忍耐しながら大地の尊い実りを待つのです。

So	seid	nun	geduldig,	lieben	Brüder,	
[zo:]	[zait]	[nu:n]	[ɡəˈduldɪç]	[ˈli:bən]	[ˈbry:dər]	
だから、こうし て	～していなさい	今は	辛抱強い	愛する	兄弟	

こうして、愛する兄弟よ、今は辛抱強くしていなさい。

bis	auf	die	Zukunft	des	Herrn.
[bis]	[auf]	[di:]	[ˈtsu:kʊnft]	[des]	[hɛrn]
～まで	定冠詞	来臨	定冠詞	主	

主の来臨の時までは。

Siehe,	ein	Ackermann	wartet
[ˈzi:ə]	[ain]	[ˈakɛrman]	[ˈvartət]
見よ、	不定冠詞	農夫	待っている

ごらん、農夫は待っている。

auf	die	köstliche	Frucht	der	Erde	
-----	-----	-----------	--------	-----	------	--

[auf]	[di:]	['kœstliçə]	[fruxt]	[der]	['e:rdə]	
(～まで)	定冠詞	貴重な、高価な	実り・収穫	定冠詞	大地	
大地の貴重な収穫(の時)まで。						
und	ist	geduldig	darüber,			
[unt]	[ist]	[gə'duldiç]	[dar'y:bər]			
そして	～している	辛抱強い	その間			
そして、その間辛抱強くしているのだ。						
bis	er	empfahe	den	Morgenregen	unt	Abendregen.
[bis]	[e:r]	[ɛmp'fa:ə]	[den]	['mɔrgənre:gən]	[unt]	['a:bəntre:gən]
～まで	彼が	迎える、受け取る	定冠詞	前の雨(朝の雨)	～と	後の雨(夜の雨)
前の雨と後の雨を迎えるまで。 (注:「前の雨」とはハレスナで種を蒔く10月末から11月の雨、「後の雨」とは穀物が実る3,4月頃の雨。 どちらも農夫にとって待望される天の恵み。)						
【ペトロの手紙1 第1章 第25節】						
しかし、主の言葉は永遠に変わることがない。						
Aber	des	Herrn	Wort	bleibet	in	Ewigkeit.
['a:bər]	[des]	[hern]	[vɔrt]	['blaibət]	[in]	['e:viçkait]
しかし	定冠詞	主の	言葉	残る、留まる	～に	永遠
しかし主の言葉は永遠に留まる。 (注:「Wort」には「神の契約/教え」という意味がある。)						
【イザヤ書 第35章 第10節】						
主に贖われた人々は帰ってくる。 どこしえの喜びを先頭に立てて喜び歌いつつシオンに帰りつく。 喜びと楽しみが彼らを迎え、嘆きと悲しみは消え去る。						
Die	Erlöseten	des	Herrn	werden	wieder	kommen
[di:]	[ɛr'lø:zətən]	[des]	[hern]	['ve:rdən]	['vi:dər]	['kɔmən]
定冠詞	救済された者	定冠詞	主に	～だろう (未来・未来完了の助動詞)	再び、 戻ってくる	来る
主に救済された者は再び帰って来るだろう。						
und	gen	Zion	kommen	mit	Jauchzen ;	
[unt]	[gen]	['tsi:ɔn]	['kɔmən]	[mit]	['jauxtsən]	
そして	～に向かって	シオンに	やってくる	～と共に	歓声、歓呼	
歓声をあげてシオンに向かってやってくる。 (注:「シオン」は元々は「神が住む丘」の意。転じて聖地エルサレムを指すようになった。)						
ewige	Freude	wird	über	ihrem	Haupte	sein,
['e:viɡə]	['frɔyðə]	[virt]	['y:bər]	['i:rəm]	['hauptə]	[zain]
永遠の	喜び	～だろう	～の上に	彼らの	頭	ある
永遠の喜びを頭上に。						
Freude	und	Wonne	werden	sie	ergreifen,	
['frɔyðə]	[unt]	['vɔnə]	['ve:rdən]	[zi:]	[ɛr'graifən]	

喜び	と	無常の喜び、歓喜	~だろう	彼らを	つかむ、掴まえる	
喜びと無常の喜びが彼らを捉え、						
und	Schmerz	und	Seufzen	wird	weg	müssen.
[unt]	[ʃmerts]	[unt]	[ˈzɔɪftsn̩]	[vɪrt]	[vek]	[ˈmʏsn̩]
そして	苦悩	と	ため息	~だろう	去る	~のはずである

苦悩とため息は消え去るに違いない。

第三楽章

【詩編 第39章 第5節】

教えて下さい、主よ、わたしの行く末を。

わたしの生涯はどれ程のものか、いかにわたしがはかないものか、悟るように。

Herr,	lehre	doch	mich,	
[her]	[ˈle:rə]	[dɔx]	[mɪç]	
主よ	教えてください	それでも	私を	

主よ、どうか私に教えてください、

daß	ein	Ende	mit	mir	haben	muß,
[das]	[ain]	[ˈendə]	[mit]	[mɪ:r]	[ˈha:bən]	[mus]
~ということ を	不定冠詞	終わり	共に	私にとって	ある、持つ	必ず~になる

私にとって終わりの時が必ずあることを、

und	mein	Leben	ein	Ziel	hat,	
[unt]	[main]	[ˈle:bən]	[ain]	[tsi:l]	[hat]	
そして	私の	命、一生	不定冠詞	限界	あることを	

そして私の命には限界があり、

und	ich	davon	muß.	
[unt]	[ɪç]	[daˈfɔn]	[mus]	
そして	私が	それらの、それによって	必ずそうなることを	

私が必ずそうなるのだということ。

【詩編 第39章 第6節】

ご覧下さい、与えられたこの生涯は僅か手の幅ほどのもの。

御前には、この人生も無に等しいのです。

ああ、人々は確かに立っているようでもすべて空しいもの。

Siehe,	meine	Tage	sind	einer	Hand	breit	vor	dir,
[ˈzi:ə]	[mainə]	[ˈta:gə]	[zɪnt]	[ˈainər]	[hant]	[braɪt]	[fo:r]	[di:r]
ご覧だ さい	私の	日々	~です	不定冠詞	手	~の幅の	前では	あなたにとって

ご覧下さい、私の日々はあなたにとっては手の幅ほどであり、

und	mein	Leben	ist	wie	nichts	vor	dir,	
[unt]	[main]	[ˈle:bən]	[ɪst]	[vi:]	[nɪçts]	[fo:r]	[di:r]	

そして	私の	命、一生	～です	～のよう	何も無いこと、 つまらないもの	前では	あなたの
-----	----	------	-----	------	--------------------	-----	------

そして私の一生はあなたの前では何も無いかのようです。

Ach,	wie	gar	nichts	sind	alle	Menschen,
[ax]	[vi:]	[ga:r]	[niçts]	[zint]	[‘alə]	[‘mɛnfən]
ああ(悲しみ・ 苦しみを表 す)	～かのよう	全然、 まったく	何も無いこと、 つまらないもの	～です	すべての	人間は

ああ、すべての人間は全く無に等しいかのようです。

die	doch	so	sicher	leben.
[di:]	[dɔx]	[zo:]	[‘ziçər]	[‘le:bən]
関係代名 詞 (人間は)	～のようだがしかし、 それなのにまったく	これほど、そう して	確かに、確実 に	生きている、 命がある

人間はこれほど確かに生きているようだというのが。

【詩編 第39章 第7・8節】

ああ、人はただ影のように移ろうもの。
ああ、人は空しくあくせく誰の手に渡るとも知らず積み上げる。
主よ、それなら何に望みをかけたらよいのでしょう。
わたしはあなたを待ち望みます。

トソロ ♪	Sie	gehen	daher	wie	ein	Schemen
	[zi:]	[‘ge:ən]	[da‘he:r]	[vi:]	[ain]	[‘fe:mən]
	彼らは	歩く、行く	そこから	～のように	不定冠詞	幻影、幽魂

彼らは幻影のようにそこから歩いて行く

und	machen	ihnen	viel	vergebliche	Unruhe,
[unt]	[‘maxən]	[‘i:nən]	[fi:]	[fer‘ge:pliçə]	[‘unru:ə]
そして	する、行う	彼らにとって	たくさんの	無駄な、無益な	落ち着き無さ、動揺、不安、心配、気がかり

そして彼らにとってたくさんの無駄なこと、心配事をし、

sie	sammeln	und	wissen	nicht,	wer	es	kriegen	wird.
[zi:]	[‘zaməlɪn]	[unt]	[‘visən]	[niçt]	[ve:r]	[es]	[‘kri:gən]	[virt]
彼らは	集める	それなのに	知っている、 心得ている	ない	誰が	それを	手に入れる、 受け取る	～になる、～だろう

彼らは集め蓄えるのに、誰がそれを手にいれることになるかを知らない。

Nun,	Herr,	wes	soll	ich	mich	trösten?
[nu:n]	[her]	[ves]	[zɔl]	[iç]	[miç]	[‘trø:stən]
今の場合、と ころで	主よ、	代名詞 (何によって)	～するべきであ る、～するだろう	私は	私を	元気づける、 安心させる

それなら、主よ、私は何によって自分を慰めるべきでしょうか？

Ich	hoffe	auf	dich.
[iç]	[‘hɔfə]	[auf]	[diç]
私は	待ち望む、	(～に向かっ	あなたを

	期待する	て		
私はあなたを待ち望みます。				
【旧約統編 知恵の書 第3章 第1節】				
神に従う人の魂は神の手で守られ、もはやいかなる責め苦も受けることはない。				
Der	Gerechten	Seelen	sind	in Gottes Hand,
[der]	[gə'reçtən]	['ze:lən]	[zint]	[in] ['gɔtəs] [hant]
定冠詞	正義の人の	魂	ある	中に 神の手
正義の人の魂は神の手の中にあり				
und	keine	Qual	rühret	sie an.
[unt]	['kainə]	[kva:l]	['ry:rət]	[zɪ:] [an]
そして	ひとつも～無い	苦しみ	触れる	彼らは ～で、～
苦しみが彼らに触れることは一切無い。				

発音&逐語一覧

第IV楽章

【詩編 第84章 第2・3節】

万軍の主よ、あなたの居ますところはどれほど愛されていることでしょう。
 主の庭を慕って、私の魂は絶え入りそうです。
 命の神に向かって、わたしの身も心も叫びます。

Wie	lieblich	sind	deine	Wohnungen,	Herr	Zebaoth!
[vi:]	['li:pliç]	[zint]	['dai:nə]	['vo:nunən]	[hɛr]	['tse:bast]
どんなにか	愛らしい、好ましい	～である	あなたの	住まい、居所	主よ	万軍の

あなたのお住まいはなんと愛すべきものであろうか、万軍の主よ！ (注:主の住まい=天国)

Meine	Seele	verlanget	und	sehnet	sich	
['mainə]	['ze:lə]	[fɛr'lanɐt]	[unt]	['ze:nɐt]	[ziç]	
私の	魂	求める、欲しくてたまらない	そして	憧れた		

私の魂は求め焦がれ、そして憧れています。

nach	den	Vorhöfen	des	Herrn:	
[na:x]	[den]	[fo:r'hø:fen]	[des]	[hɛrn]	
～に	定冠詞	前庭	定冠詞	主の	

主の前庭に向かって。

mein	Leib	und	Seele	freuen	sich	
[main]	[laip]	[unt]	['ze:lə]	['frɔ:vən]	[ziç]	
私の	体、生命	と	魂、心	喜んだ		

私の命と魂は喜んおります。

in	dem	lebendigen	Gott.	
[in]	[dem]	[le'bendigən]	[gɔt]	
～において	定冠詞	生きている	神	

命ある神において。

【詩編 第84章 第5節】(新共同訳では第5節)

いかに幸いなことでしょう、あなたの家に住むことができるなら。
 ましてあなたを賛美することができるなら。

Wohl	denen,	die	in	deinem	Hause	wohnen,	
[vo:l]	['de:nən]	[di:]	[in]	['dai:nəm]	['hauzə]	['vo:nən]	
幸せ	関係代名詞	関係代名詞 (人々)	～に	あなたの	家	住む	

幸いです、あなたの家に住む人々は。

(注:主の家に住む人々=天国の住人=死者)

die	loben	dich	immerdar.	
[di:]	['lo:bən]	[diç]	[imɐr'da:r]	

関係代名詞 (人々)	褒め称える	あなたを	いつまでも・永久に
---------------	-------	------	-----------

また、いつまでもあなたを褒め称える人々は。

第V楽章

【ヨハネによる福音書 第16章 第22節】

ところで、今はあなたがたも悲しんでいる。
しかし私は再びあなたがたと会い、あなたがたは心から喜ぶことになるう。
その喜びをあなたがたから奪い去る者はいない。

♪ソロ♪	Ihr	habt	nun	Traurigkeit,
	[i:r]	[ha:pt]	[nu:n]	[ˈtrauriçkait]
	あなたがたは	持っている	今は	悲しみ

あなたがたには今は悲しみがある、

aber	ich	will	euch	wieder	sehen,
[ˈa:bər]	[iç]	[vil]	[ɔʏç]	[ˈvi:ðər]	[ˈze:ən]
しかし	わたしは	～するつもりである、 ～したい	あなたがたに	再び、また	会う

しかし私はあなたがたに再び会うつもりでいる。

und	euer	Herz	soll	sich	freuen,
[unt]	[ˈɔvər]	[herts]	[zɔl]	[ziç]	[ˈfʁɔvən]
そして	あなたがたの	心	～するに至る (運命・予定)	喜ぶ	

そしてあなたがたの心は喜ぶだろう、

und	eure	Freude	soll	niemand	von	euch	nehmen.
[unt]	[ˈɔvrə]	[ˈfʁɔɪdə]	[zɔl]	[ˈni:mant]	[fɔn]	[ɔʏç]	[ˈne:mən]
そして	あなたがたの	喜び	～するに至る (運命・予定)	誰も～しない	から	あなたがたに	奪い去る

そしてあなたがたの喜びをあなたがたから取り上げる者はいないだろう。

【旧約続編 シラ書【集会の書】 第51章 第27節】

目を開いて見よ。
わずかな努力で、わたしが多くの安らぎを見出したことを。

♪ソロ♪	Sehet	mich	an;
	[ˈze:ət]	[miç]	[an]
	見なさい	私を	

私を見なさい

Ich	habe	eine	kleine	Zeit	Mühe	und	Arbeit	gehabt
[iç]	[ˈha:bə]	[ˈainə]	[ˈklaɪnə]	[tsait]	[ˈmy:ə]	[unt]	[ˈarbaɪt]	[geˈha:pt]
私は	～した	わずかな	時間	努力、労苦、 面倒	と	労働、苦勞	～して	

私はわずかな努力と苦勞で

und	habe	großen	Trost	funden.

[unt]	['ha:bə]	['gro:sən]	[trø:st]	['fundən]
そして	～した	大きな	慰め	発見した

すでに大きな慰めを見つけた。

【イザヤ書 第66章 第13節】

母がその子を慰めるように、わたしはあなたがたを慰める。

Ich	will	euch	trösten,
[iç]	[vil]	[ɔyç]	['trø:stən]
私は	～するつもりだ	あなたがたを	慰める、元気づける

私はあなたがたを慰めるつもりだ、

wie	einen	seine	Mutter	tröstet.
[vi:]	['ainən]	['zainə]	['mutər]	['trø:stət]
～ように	不定代名詞 (ある人を)	彼の	母	慰めた

ある人をその母が慰めたように。

第VI楽章

【ヘブライ人への手紙 第13章 第14節】

私たちはこの地上に永続する都を持っておらず、
来たるべき都を探し求めているのである。

Denn	wir	haben	hie	keine	bleibende	Statt,
[den]	[vi:r]	['ha:bən]	[hi:]	['kainə]	['blai:bəndə]	[stat]
なぜなら	私たちは	持つ	ここに(この地上に)	ひとつも～ない	永遠・永続的な	場所(都) を

なぜなら私たちはこの地上に永遠の場所を持っていない。

sondern	die	zukünftige	suchen	wir.
['zɔndərən]	[di:]	['tsu:kynftigə]	['zu:xən]	[vi:r]
そうではなく て、むしろ	関係代名詞 (来たるべき都)	未来の、将来の	探し求める	私たちが

そうではなく未来の来たるべき都が私たちの探し求めるものだ。

(注:未来の来るべき都=最後の審判によってもたらされる「神の国(天国)」)

【コリントの信徒への手紙1 第15章 第51～55節】

わたしはあなたがたに神秘を告げます。
 私たちは皆、眠りにつくわけではありません。
 私たちは皆、今とは異なる状態に変えられます。
 最後のラッパが鳴るとともに、たちまち、一瞬のうちにです。
 ラッパが鳴ると、死者は復活して朽ちない者とされ、私たちは変えられます。
 そのとき(※この朽ちるべきものが朽ちないものを着、この死ぬべきものが死なないものを着るとき)、
 次のように書かれている言葉が実現するのです。
 「死は勝利に飲み込まれた。
 死よ、お前の勝利はどこにあるのか。
 死よ、お前のとげは、どこにあるのか。」
 ※() 部分はブラームスによって省かれ、「その時」の一言にまとめられた。

♪ソロ ♪	Siehe,	ich	sage	euch	ein	Geheimnis;
----------	--------	-----	------	------	-----	------------

	['zi:ə]	[iç]	['za:gə]	[ɔʏç]	[ain]	[gə'haimnis]	
	見よ、	私は	告げる	あなた方に	不定冠詞	奥義、秘密、神秘	
見よ、私はあなた方にひとつの奥義を告げる。(注:奥義=聖書の聖句の裏にある真の意味)							
Wir	werden	nicht	alle	entschlafen,			
[vi:r]	['ve:rdən]	[niçt]	['alə]	[ɛnt'ʃla:fən]			
私たちは	～だろう (未来・完了の 助動詞)	～ない	すべての、あ らゆる	永眠する			
私たちは皆、永眠するのではなく、							
wir	werden	aber	alle	verwandelt	werden;		
[vi:r]	['ve:rdən]	['a:bər]	['alə]	[fər'vandəlt]	['ve:rdən]		
私たちは	～だろう	(強め)まったく、い ったい	皆	変化する	～られる (受動の助動詞)		
そうではなく私たちは皆変化させられるだろう。							
♪ソロ ♪	und	dasselbige	plötzlich,	in	einem	Augenblick,	
	[unt]	[das'zɛlbɪgə]	['plœtsliç]	[in]	['ainəm]	['augenblik]	
	そして	同じ(もの)	突然、ただちに	～のうちに	ひとつの	瞬間	
突然に、一瞬のうちに同様に、							
zu	der	Zeit	der	letzten	Posaune.		
[tsu:]	[der]	[tsait]	[der]	['lɛtstən]	[po'zaunə]		
～に	定冠詞	時	定冠詞	最後の	ラッパ(最後の審判の)		
最後にラッパが鳴る時に。							
Denn	es	wird	die	Posaune	schallen,		
[den]	[es]	[virt]	[di:]	[po'zaunə]	['ʃalən]		
なぜなら	～だろう	定冠詞	ラッパ(最後の審判の)	鳴り響く			
ラッパが鳴り響いて、							
und	die	Toten	werden	aufstehen	unverweslich,		
[unt]	[di:]	['to:tən]	['ve:rdən]	['aufstɛ:ən]	[unfər've:slɪç]		
そして	定冠詞	死者	～だろう	復活する	腐朽しない		
死者は腐朽しないものに復活し、							
und	wir	werden	verwandelt	werden.			
[unt]	[vi:r]	['ve:rdən]	[fər'vandəlt]	['ve:rdən]			
そして	私たちは	～だろう	変化する	～られる (受動の助動詞)			
そして私たち(生者)は(新しい身体に)変えられるだろう。							
♪ソロ ♪	Dann	wird	erfüllet	werden			
	[dan]	[virt]	[ɛr'fʏlɛt]	['ve:rdən]			

その時	～だろう	かなえられる	～られる(受動の助動詞)
-----	------	--------	--------------

その時かなえられるだろう。

das	Wort,	das	geschrieben	steht:	
[das]	[vɔ:t]	[das]	[gə'ʃʁi:bən]	[ʃtɛ:t]	
定冠詞	言葉、聖句	関係代名詞	～と書いてある		

(旧約)聖書に書いてある言葉が。

Der	Tod	ist	verschlungen	in	den	Sieg.	
[der]	[to:t]	[ist]	[fɛr'ʃlʊŋən]	[in]	[den]	[zi:k]	
定冠詞	死	飲み込まれた		～に	定冠詞	勝利	

『死は勝利に飲み込まれた。』

Tod,	wo	ist	dein	Stachel!	
[to:t]	[vo:]	[ist]	[dɛin]	[ʃtaxəl]	
死よ、	どこに	ある	お前の	刺	

死よ、お前の刺はどこにあるのか！

Hölle,	wo	ist	dein	Sieg!	
[ˈhœlə]	[vo:]	[ist]	[dɛin]	[zi:k]	
地獄よ、	どこに	ある	お前の	勝利	

地獄よ、お前の勝利はどこにあるのか！』

【ヨハネの黙示録 第4章 第11節】

主よ、私たちの神よ、あなたこそ、栄光と誉れと力とを受けるにふさわしい方。
あなたは万物を造られ、御心によって万物は存在し、創造されたからです。

Herr,	du	bist	würdig	zu	nehmen	
[her]	[du:]	[bist]	[ˈvʏrdɪç]	[tsu:]	[ˈne:mən]	
主よ、	あなた	～である	値する・ふさわしい	～に	受ける	

主よ、あなたは受けるに値する御方です、

Preis	und	Ehre	und	Kraft,	
[praɪs]	[unt]	[ˈe:rə]	[unt]	[kraft]	
賛美、賞賛	と	名誉、栄光	と	能力、威力	

栄光と誉れと力を。

denn	du	hast	alle	Dinge	erschaffen,	
[den]	[du:]	[hast]	[ˈalə]	[ˈdɪŋə]	[ɛr'ʃafən]	
なぜなら	あなたは	～した	すべての、あらゆる	物	創造する	

なぜならあなたは万物を創造なさいました。

und	durch	deinen	Willen	haben	sie	das	Wesen
[unt]	[dʊɾç]	[ˈdɛɪnən]	[ˈvɪlən]	[ˈha:bən]	[zi:]	[das]	[ˈve:zən]
そして	～によって	あなたの	意志	ある	それは(代名詞)	定冠詞	生物、存在物

そしてあなたの意志によって被造物は存在し、

und	sind	geschaffen.	
[unt]	[zint]	[gə'ʃafən]	
そして	～である	創造され	

創られたのです。

第VII楽章

【ヨハネの黙示録 第14章 第13節】

今から後、主に結ばれて死ぬ死人は幸いである。

“霊”も言う、

『然り、彼らは労苦を解かれて、安らぎを得る。その行いが報われるからである』

Selig	sind	die	Toten,	
['ze:liç]	[zint]	[di:]	['to:tən]	
この上なく幸 せ	～である	定冠詞	死者	

死者はこの上なく幸せです、

die	in	dem	Herren	sterben,	von	nun	an.
[di:]	[in]	[dem]	[he:rən]	['ʃtərbən]	[fən]	[nu:n]	[an]
関係代名詞 (者は)	～に、 ～で(結ばれて)	定冠詞	主	死ぬ	から	今	(～に)

今から主に結ばれて(主を信じて・信仰ゆえに)死ぬ者は。

Ja,	der	Geist	spricht,	
[ja:]	[der]	[ga:st]	[ʃprɪçt]	
然りと (肯定・同意の答 え)	定冠詞	霊(聖霊)	言う	

『然り』、と聖霊は言う。

daß	sie	ruhen	von	ihrer	Arbeit;	
[das]	[zi:]	['ru:ən]	[fən]	['i:rər]	['arbait]	
～ということ	彼らは	休む	～から(離れて)	彼らの	労働、苦勞	

『彼らの苦勞を離れて彼らは休むということである、

denn	ihre	Werke	folgen	ihnen	nach.	
[den]	['i:rə]	['verkə]	['fɔlgən]	['i:nən]	[na:x]	
なぜなら	彼らの	仕事、所業	ついて行く	彼らに	従って、後から	

なぜなら彼らの行いは彼らの後について行くから。』(神を信仰してきたことが報われる)

++++ 参考文献 +++++

いろいろなホームページ